

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日 令和7年6月24日

部課名 健康こども部スポーツ局スポーツ振興課

施設名	弘前市金属町体育センター
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	弘前市大字金属町1番地9
指定管理者名	公益財団法人弘前市スポーツ協会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。施設の維持管理については、職員間の情報共有や他指定管理施設との連携により適正な管理運営を実施している。	
2 自主事業の実施状況 地域密着型の施設のため、施設利用者や周辺住民の方が求める内容の教室を調査検討している。また、利用者の利便性向上のため、ニーズに合わせた自動販売機の導入を引き続き実施している。	
3 市民サービス向上のための取組状況 利用者が安心・安全に施設を利用できるよう、適切なメンテナンスを実施するとともに、衛生管理の徹底にも努めていた。また、パンフレットや月間・週間予定表、ホームページ、SNS(Facebook)、館内掲示物等を随時更新し、タイムリーな情報提供を行った。さらに、災害級の大雨や豪雪などの自然災害に対しては、施設間を越えた管理体制のもと連携を強化し、利用者に支障が生じないよう、必要な労務や除雪作業を効率的に実施していた。加えて、救命講習や施設の維持管理に資する講習会にはスタッフを積極的に派遣し、知識および技術の向上に努めた。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 ご意見箱、ホームページでの「お客様の声」、SNS(Facebook)での問い合わせ対応など、さまざまなチャネルを通じて利用者の声を収集していた。さらに、より多くの利用者から、よりタイムリーにご意見を伺うため、年間を通じてアンケート調査を実施した。その結果、いただいたご意見やお問い合わせのうち、即時対応可能な案件については、迅速に修理や改善を行い、スタッフの接遇に関しても柔軟かつ丁寧に対応していた。	

5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

利用団体数1,037件（前年比113.1%）、利用人数18,341人（前年比102.3%）、使用料1,489,440円（前年比127.2%）

貸出時間の延長については、徐々に周辺住民や市民に浸透しつつあり、認知が広がってきている状況となっている。

6 指定管理業務の収支状況

再委託業務においては、仕様内容の見直し（必要度の評価および類似業務の統一化）、計画的な修繕の実施、および経費の適正な執行に努めていた。

一方で、最低賃金の改定等に伴う人件費の上昇や、再委託契約における契約事業者の基本単価の引き上げにより、支出負担は増加傾向にある。

7 実地調査の結果

施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

<金属町体育センター>

利用件数：目標	925件	実績	1,037件	達成率	112%
利用人数：目標	21,922人	実績	18,341人	達成率	84%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	毎日の基本業務を適切に遂行しつつ、貸出時間を延長するなど、可能な範囲で利用者ニーズに即した柔軟な施設運営に努めました。また、必要な業務報告についても、遅滞なく適切に実施しました。	使用料の取り扱い等について、コンプライアンスを徹底させるための定期的な内部監査や職員指導の継続。 生活(運動)習慣や利用者が求める多様な利用方法に柔軟に対応できるような知識(人)と財源の確保。
施設の管理	B	従来の維持管理の水準を維持した上で、利用者の安全を第一に緊急時(災害)対策に努めるとともに、個人情報・文書・備品等の管理を実施いたしました。	
経理の状況	B	指定管理料については、長期的な執行計画に基づき適正な執行に努めましたが、最低賃金の改定等に伴う人件費のベースアップには十分に対応できておらず、課題が残る結果となりました。	人件費に加え、施設の老朽化に伴い、指定管理料の範囲内での修繕執行計画が必要。
団体の財務状況	C		組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	施設の貸出時間を延長するなど、利用者ニーズに即した適正な施設運営を行っている。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	B	適性な施設管理に加え、利用者の安全を第一に緊急時対策に努めている。また、個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	人件費の見直し及び自主事業等による収入増の工夫が必要である。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評 価 の 視 点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する